

目標達成計画

作成日:平成 27年 2月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	インフルエンザの集団感染を発生。利用者にインフルエンザを移した上、隔離に失敗し、瞬く間に広がってしまう。	感染症対策マニュアルを見直し、職員の感染症防止に対する意識の向上を行う。	職員と共に感染症対策マニュアルを見直し、周知徹底を行う。感染症の流行時には、感染を先ず疑い、集団感染を発生させないように努める。	4ヶ月
2	35	避難場所や災害時の連絡方法の周知ができていない。災害時に地域住民の協力を得られる体制が整っていない。	避難場所や災害時の連絡方法を確認しあう。地域の方にグループホームの存在をアピールし、災害時に協力をお願いする機会を持つ。	避難訓練に地域の方に参加していただけるよう声をかける。避難場所や災害時や緊急時の連絡方法などを家族と確認しあう。	12ヶ月
3	36	人格を尊重した言葉がけや対応を行うよう注意しているが、重度の利用者に対してケアを後回しにしている時がある。	意思表示が低い重度の利用者こそ、人格を尊重した言葉がけや対応が必要である。利用者の家族が傍におられると意識して、利用者に接するよう心がける。	意思表示が無いからといってケアを後回ししていないか、利用者の家族にみせられないようなケアを行っていないか、職員の自己覚知を促すよう、勉強会や自己評価を行う。	12ヶ月
4	26	介護計画は介助項目が中心の職員向けに作成されており、利用者が地域でその人らしく暮らし続けるための視点が欠けている。	利用者のその人らしい習慣や嗜好を介護計画に盛り込み、共に利用者を支える、家族等の関係者を巻き込むような介護計画にする。	利用者のパーソナルシートを活かし、その人らしい生活が送れるようなケアプランを、見直しの際に検討していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。